

大人は焦らないで

作家五味さん 子の人権講演

名古屋

行き場のない子どもたちを守るうと活動するNPO法人子どもセンター「パオ」(事務局・名古屋市東区)の設立一周年記念イベントが、名古屋市中区役所ホールであり、絵本作家の五味太郎さん(六)が子どもの人権について講演した。

五味さんは、来場した

親たちに「学校に行きたくない子を無理に行かせたことではない」と論じ、教育を受ける権利を定めた憲法二六条を紹介。「子どもには教育を受ける『義務』があるのではなく『権利』があり、不登校はその『権利放棄』にすぎない。『義務教育だから学校に行かねばな

らない』と子をしかる親は、憲法解釈が間違っている」と語った。

その上で「大人はもっとゆっくりと丁寧に、子どもを見てあげてもいいんじゃないでしょうか」と客席に呼び掛けた。

イベントではこのほか、絵本を読み聞かせる活動をしている「ブックドクター」のあきひろさん(四)が五味さんの絵本を朗読するコーナーもあった。

(菊谷隆文)